



Le Petit Lion du Marquis de Las Cases 2007

ル・プティ・リオン・デュ・マルキ・ド・ラスカーズ

所有者 Jean-Huvert Delon

アペラシオン サンジュリアン

メドック地区格付け 2 級、シャトー・レオヴィル・ラスカーズの
セカンドワイン

ル・プティ・リオン・デュ・マルキ・ド・ラスカーズは、ボルドーのジロンド川の左岸サンジュリアン村にある 2 級格付けのシャトー・レオヴィル・ラスカーズの正式なセカンドワインです。2007 年が初リリースであり、これまでクロ・デュ・マルキがセカンドワインとして称されてきましたが、この時よりクロ・デュ・マルキは異なる区画からできるファースト・ワインのひとつとして、またこのル・プティ・リオンがセカンドワインに位置づけられました。

フランス革命の頃は、もともと大きな地所の一部だったのですが、この地所が分割されました。

1920 年代にその一部をシャトー・レオヴィル・バルトン(サンジュリアン、同 2 級格付け)として、また 1840 年にさらに分割され、シャトー・レオヴィル・ポアフェレ(サンジュリアン、同 2 級格付け)となりました。現在 3 つの Leoville が存在し、その中でもレオヴィル・ラスカーズは最も 1 級に近いワインとしての名声を獲得しているワインです。

現在、シャトー・レオヴィル・ラスカーズは、デロン家(Delon)に所有され、2000 年に父である Michel Delon が他界した後は、息子の Jean-Huvert Delon が所有者として上質なワインを造り続け、今日ではスーパーセカンドとして知られる有名シャトーです。

プティ・リオンの畑は、レオヴィル・ラスカーズの畑と同じくグラン・クロと呼ばれる区画から収穫されたブドウから造られています。このことから立地条件の良さは十分おわかり頂けるかと思いますが、そのうちの一部の若樹のブドウを使用して造られているワインです。醸造方法はシャトー・レオヴィル・ラスカーズとほとんど変わりません。またファーストワインと比べ、メルローのブレンド比率が高いこともあり、早く飲み頃を迎えることができます。

生産量はたった 2,000 ケース(24,000 本)です。希少性も高く、1 級に並ぶ上質のセカンドワイン。トップ生産者ゆえの造りをお手頃な価格でお楽しみ頂けるセカンドワインかと考えます。

ラベルはファーストワインのレオヴィル・ラスカーズに非常に似ていて、異なる点は、ワイン名でもある“Petit Lion”(可愛い小さなライオン)が中心に載っています。

Le Petit Lion du Marquis de Las Cases 2007 は、85% メルロー、15% カベルネ・ソーヴィニオンから成ります。カシスやプラムなどの果実が主体的、メルロー主体であるためソフトなタンニン。程よい酸。大きくはないボリューム感ですが、しっかりした骨格が 1 本芯の通ったニュアンスへと感じさせてくれます。全体的な味わいのバランスもすでにとれており、若いうちからお楽しみ頂ける一本かと考えます。

参考情報

土壌 粘土を含む砂質、粘土を含む砂利質

栽培面積 97ha (全体で)

栽培密度 8,000 本/ha

収量 42-50hl/ha

醱酵・マセラシオン 12-20 日

熟成 12-24 ヶ月 (新樽:約 15%)

年間生産量 24,000 本

(平均 / レオヴィル・ラスカーズ:216,000 本、クロ・デュ・マルキ:240,000 本)

s.a.r.l.Trente-Trois

39, rue Huguerie, 33000 Bordeaux, FRANCE Email:33@trente-trois.fr, Tel :+33(0)953459303